

四半期報告書

(第53期第1四半期)

自 平成23年4月1日

至 平成23年6月30日

国際チャート株式会社

埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 3
- 2 経営上の重要な契約等 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 4
- (7) 議決権の状況 5

2 役員の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期財務諸表

- (1) 四半期貸借対照表 7
- (2) 四半期損益計算書 9

2 その他 12

第二部 提出会社の保証会社等の情報 13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）
【会社名】	国際チャート株式会社
【英訳名】	Kokusai Chart Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 勝部 泰弘
【本店の所在の場所】	埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地
【電話番号】	(048)728-8111（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理センター長 川澄 洋一
【最寄りの連絡場所】	埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地
【電話番号】	(048)728-8169
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理センター長 川澄 洋一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第1四半期 累計期間	第53期 第1四半期 累計期間	第52期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高（千円）	715,914	806,010	3,018,155
経常利益（千円）	42,190	18,536	62,172
四半期（当期）純利益（千円）	40,476	18,187	55,732
持分法を適用した場合の投資利益 （千円）	—	—	—
資本金（千円）	376,800	376,800	376,800
発行済株式総数（千株）	6,000	6,000	6,000
純資産額（千円）	1,272,952	1,257,866	1,256,905
総資産額（千円）	2,835,000	2,890,768	2,905,423
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	6.75	3.03	9.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	—	—	8
自己資本比率（%）	44.9	43.5	43.3

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、当社には関連会社が存在しないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間における経済環境は円高、さらには部品供給網の停止や電力不足など震災の影響で不透明な状況が続きましたが、当社ではお客様など関係各位のご支援により、概ね順調に事業を進めることができたと考えております。

1-1) 中期的視点の活動

・平成23年3月22日付で親会社の異動があり、東芝テック(株)を親会社として迎えました。当第1四半期はその新たな第一歩に当たり、お客様、代理店様、仕入先様、金融機関様、従業員などに対しその移行作業に取り組みました。関係各位のご指導とご理解により順調に取り組むことができ、新しい当社の強固な絆作りができたものと考えます。この基盤の上で昨年度発表の新中期事業計画を実行してまいります。

・新中期事業計画の進捗では、当社の精密紙加工技術とICT利用技術を基盤とし、「①従業員一人当たりの売上高の増進」、「②財務体質の強化」に継続して取り組みました。その中で当第1四半期に借入金をすべて返済し、無借金化を実現いたしました。

・今後強化する事業面では、東芝テック(株)との連携を図り、ラベル紙事業の強化に取り組みました。また、記録紙の事業に関しましては、横河電機(株)と従来通りの関係を維持し、お客様への高品質で安定した記録紙ソリューションの供給体制を再構築し、従来通りの記録紙事業を継続いたしました。

1-2) 当第1四半期の経営成績

・売上は前年同期比12.6%増収の806百万円、営業利益は19百万円減益の19百万円、経常利益は23百万円減益の18百万円、四半期純利益は22百万円減益の18百万円でありました。

・セグメント別の状況

計測事業は震災の影響から市場規模の縮小がありましたが、新市場であります医療市場の開拓とEコマースを利用した新営業手法により売上を維持することが出来ました。前年同期の売上とほぼ同額の474百万円でありました。

情報事業は37.6%増収の331百万円でありました。これはラベル事業の立ち上げに向け、大口案件への積極的な営業取り組みと大口ロット生産ライン構築に注力しており、その取り組みの中で達成できたものであります。一方、利益面では大口案件の販売価格の下落から減益となりました。今後は更なる売上の増進とコスト改善活動により増益に向け取り組んでまいります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は、11百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（千株）
普通株式	20,000
計	20,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数（千株） （平成23年6月30日）	提出日現在発行数（千株） （平成23年8月11日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,000	6,000	大阪証券取引所 JASDAQ （スタンダード）	単元株式数100株
計	6,000	6,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 （千株）	発行済株式総 数残高 （千株）	資本金増減額 （千円）	資本金残高 （千円）	資本準備金増 減額（千円）	資本準備金残 高（千円）
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	—	6,000	—	376,800	—	195,260

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	—	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,999,600	59,996	—
単元未満株式	普通株式 400	—	—
発行済株式総数	6,000,000	—	—
総株主の議決権	—	59,996	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数5個が含まれております。
なお、単元未満株式に自己株式60株が含まれております。

②【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第52期事業年度

有限責任監査法人トーマツ

第53期第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間

新日本有限責任監査法人

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	250,367	309,682
受取手形及び売掛金	625,295	539,821
商品及び製品	97,535	106,039
仕掛品	15,947	15,817
原材料	65,930	82,796
その他	14,371	25,451
貸倒引当金	△114	△326
流動資産合計	1,069,334	1,079,282
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,556,419	1,560,771
減価償却累計額	△1,006,260	△1,014,743
建物（純額）	550,159	546,028
構築物	115,188	115,188
減価償却累計額	△85,110	△85,650
構築物（純額）	30,077	29,537
機械及び装置	1,882,546	1,884,435
減価償却累計額	△1,599,347	△1,616,673
機械及び装置（純額）	283,199	267,762
車両運搬具	4,115	4,115
減価償却累計額	△4,060	△4,070
車両運搬具（純額）	55	45
工具、器具及び備品	325,416	325,416
減価償却累計額	△295,299	△297,130
工具、器具及び備品（純額）	30,117	28,285
土地	881,366	881,366
建設仮勘定	—	6,009
有形固定資産合計	1,774,974	1,759,035
無形固定資産		
ソフトウェア	26,801	23,796
その他	2,861	2,851
無形固定資産合計	29,662	26,647
投資その他の資産		
投資有価証券	15,425	16,226
その他	17,570	11,755
貸倒引当金	△1,542	△2,180
投資その他の資産合計	31,452	25,802
固定資産合計	1,836,089	1,811,485
資産合計	2,905,423	2,890,768

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503,415	582,725
短期借入金	5,000	—
未払法人税等	4,568	1,732
賞与引当金	28,609	—
役員賞与引当金	2,644	2,205
その他	201,899	132,531
流動負債合計	746,137	719,194
固定負債		
繰延税金負債	305,713	305,200
退職給付引当金	571,104	582,938
資産除去債務	1,711	1,716
その他	23,851	23,851
固定負債合計	902,380	913,706
負債合計	1,648,518	1,632,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,800	376,800
資本剰余金	195,260	195,260
利益剰余金	688,760	688,948
自己株式	△29	△29
株主資本合計	1,260,791	1,260,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,885	△3,111
評価・換算差額等合計	△3,885	△3,111
純資産合計	1,256,905	1,257,866
負債純資産合計	2,905,423	2,890,768

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	715,914	806,010
売上原価	467,124	568,082
売上総利益	248,790	237,927
販売費及び一般管理費	209,745	218,760
営業利益	39,044	19,167
営業外収益		
受取配当金	138	139
受取手数料	280	290
助成金収入	5,118	—
その他	325	65
営業外収益合計	5,862	495
営業外費用		
支払利息	482	5
為替差損	2,014	736
その他	221	383
営業外費用合計	2,717	1,126
経常利益	42,190	18,536
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産処分損	1,034	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,217	—
特別損失合計	2,251	17
税引前四半期純利益	39,939	18,518
法人税、住民税及び事業税	432	432
法人税等調整額	△969	△101
法人税等合計	△536	331
四半期純利益	40,476	18,187

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	28,116千円	32,451千円
のれんの償却額	一千円	一千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	29,999	5	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金

II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月22日 定時株主総会	普通株式	17,999	3	平成23年3月31日	平成23年6月23日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	計測事業	情報事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	474,817	241,097	715,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	474,817	241,097	715,914
セグメント利益又は損失（△）	61,406	△22,362	39,044

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	計測事業	情報事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	474,346	331,663	806,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	474,346	331,663	806,010
セグメント利益又は損失（△）	57,195	△38,028	19,167

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	6円75銭	3円3銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	40,476	18,187
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	40,476	18,187
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,999	5,999

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

国際チャート株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上原 仁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 南山 智昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている国際チャート株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第53期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、国際チャート株式会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【会社名】	国際チャート株式会社
【英訳名】	Kokusai Chart Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 勝部 泰弘
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	埼玉県桶川市赤堀一丁目30番地
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長勝部泰弘は、当社の第53期第1四半期（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。